

富山経済同友会

会報

2025.7月
No. 325



関西経済同友会との交流（5月7日）

CONTENTS

- | | |
|-----------------------------|---|
| ● 委員長会議 2 | ● 第6回全国立山大使の会 8 |
| ● 第1回総務企画委員会 3 | ● 第88回あけぼの会ゴルフコンペ 9 |
| ● トピックス（関西経済同友会との交流）..... 4 | ● リレーエッセイ [®] （下村 貴之 氏）.....10 |
| ● 第1回教育を考える委員会 5 | ● 活動報告11 |
| ● 課外授業講師派遣 5 | ● 事務局からのお知らせ12 |
| ● 市中堅教諭等資質向上研修 6 | ● 今後の予定13 |
| ● 第43回海外経済視察 トルコ大使館訪問 … 7 | ● わが青春の1枚（寺下 利宏 氏）.....14 |

9 委員会が始動！ ～ 委員長会議 ～

5月21日(水)、令和7年度委員長会議がオークスカナルパークホテル富山で開催された。

今年度の委員会再編により、2つの「総務・会務の委員会」と8つの「調査・研究の委員会」の計10委員会で活動を推進していくこととなり、本会議が新たな体制下での委員会活動のスタートとなる。当日は、常任幹事以上の役員のもと、代表幹事イニシアティブ委員会（代表幹事等の発議を受け適宜設置）を除く9委員会の委員長らが集い、計22名で新たな委員会方針を共有。

委員長らから活動計画と併せ熱く抱負が語られた後、各担当役員のフォローを交えながら活発な意見交換がなされた。



総務企画委員会
山野委員長



交流委員会
島田委員長



企業経営委員会
山田委員長



デジタル推進委員会
西田委員長



人財育成・活躍委員会
西能委員長



教育を考える委員会
青山副委員長



地域創生委員会
橋本委員長



観光戦略委員会
酒井委員長



文化芸術委員会
近藤委員長

委員会名	委員長	担当役員	委員数*
総務企画委員会	山野 昌道	松田 光司	7 名
交流委員会	島田 好美	伊東潤一郎	13名
企業経営委員会	山田 恵子	中澤 宏	99名
デジタル推進委員会	西田 美樹	石倉 央	78名
人財育成・活躍委員会	西能 淳	中沖 雄	74名
教育を考える委員会	寺島 雅峰	石坂 兼人	48名
地域創生委員会	橋本 淳	稲田 祐治	129名
観光戦略委員会	酒井 郁生	森田 弘美	101名
文化芸術委員会	近藤 裕世	浅野 雅史	101名
代表幹事イニシアティブ委員会	適宜、設置・選任		

※2025年 5月21日時点

委員会相互の連携促進 ～ 第1回総務企画委員会 ～

5月9日(金)、第1回総務企画委員会（山野昌道委員長）を事務局会議室で開催。委員長以下5名が集い、今年度の活動計画について議論を交わした。

最初に、山野委員長が、活動計画（方針・年間計画）案の概要を説明。前身である企画委員会の方針を引き継ぎ、「次年度委員会活動方針の検討」や「委員会相互の連携促進」



山野委員長

等に取り組むとともに、新たに「会員増強の統括」を担うとの方針のもと、具体的にいかに関活動を進めるかの計画案が示された。

その後の意見交換では、まず、活動の主目的が「2年後の委員会再編に向けた体制検討」であり、そのために、今年度は（次の再編検討に

入る）2年目に向けこの4月に再編された委員会体制・活動に



についての情報収集に努めることが確認された。また、「委員長相互の情報共有・連携・啓発」を目的とする委員長連絡会議を委員会と併せて開催することで、委員長間だけでなく総務企画委員との情報の収集・連携をより効率的かつ包括的に行う、との考えも示され、委員の同意を得た。新たな課題である「会員増強」については、特に若年層や女性の会員獲得を目指すべき、地域バランスも考慮が必要などの意見が挙がり、具体的な増強方策について検討がなされた。

委員長経験者からなる本委員会のスタートは、活発かつ忌憚ない発言が相次ぎ、「当会活動・運営等のあり方」についての有意義な意見交換の場となった。

教育を考える — 関西経済同友会との交流 —

5月7日(水)、(一社)関西経済同友会の宮部義幸代表幹事、永井靖二代表幹事、三笠裕司教育問題委員会委員長をはじめ、教育問題委員会委員・スタッフら23名が来県され、麦野代表幹事をはじめ、教育を考える委員会(寺島雅峰委員長)正副委員長ら11名と意見交換を行った。今回の意見交換会は、当初今年2月に実施予定であったが雪の影響により延期となり、再度調整し実現。

はじめに麦野代表幹事が「そうそうたる皆様方が、よくぞ富山にお越しいただきました」と歓迎の言葉を述べ、「一地方の経済団体がどのようなことで悩んで、考えて、行動しているかということを知っていただきたい」と挨拶した。



麦野代表幹事



寺島委員長



土屋前委員長

続いて、関西経済同友会の三笠委員長と土屋前教育問題委員会委員長が、取組内容や提言について紹介。大学と企業が共同で計画・実施する教育プログラム「コーオペ教育(Cooperative Education)」や、レーダーチャート等により学生の学修成果を可視化する「ディプロマ・サプリメント」など、活動を通して得られた様々な知見を共有いただき、新たな気付き・学びを得ることができた。

また、関西では大学が多く学生は集まりやすいが、定着しないという課題意識がある一方、富山では学生が県外へ流出し戻ってこないという現状があるなど、背景が異なる中でも、生きる力を育む教育のあり方などについて、活発に意見を交わした。

懇親会では、稲田前担当役員や牧田代表幹事の開会挨拶、乾杯の発声で懇談がスタートし、会話を弾ませながら交流を深めた。



稲田前担当役員



牧田代表幹事





教育改革は大人の意識改革から

— 第1回教育を考える委員会 —

6月26日(木)、インテックビルにおいて、第1回教育を考える委員会（寺島雅峰委員長）を開催し、委員25名が参加した。

冒頭、寺島委員長が「子どもたちをたくましく成長させるためには学校だけでは難しい。企業や地域がどのように協力できるかを皆さんとしっかりと考える2年間にしていきたい」と挨拶した。続けて、委員会の活動方針・活動計画として、教師と企業人との多様な交流、課外授業講師派遣事業の推進、県教育委員会等との意見交換、前委員会の提言実践など、取り組むべき課題について説明した。



寺島委員長

次に、富山大学学長特命補佐の林誠一氏を講師に招き、「教育改革は大人の意識改革」と題

して講演いただいた。林氏は、日本の学習指導要領の変遷や人口推移をたどりながら、自ら学び自ら考えるなどの「生きる力」を育成するために、求められる能力にも変化があったと指摘。時代の変化に応じて教育も変わる必要があるとしたうえで「教育改革はこれからの社会を支える子どものための改革であることを忘れてはいけない。大人が意識改革をしなければ改革は進まない」と説いた。最後に、「学校は、生涯学び続ける基盤を培う場所。これからも学校と社会・企業との連携を進めたい」と講演を締めくくった。



林 誠一 氏

た指摘。時代の変化に応じて教育も変わる必要があるとしたうえで「教育改革はこれからの社会を支える子どものための改革であることを忘れてはいけない。大人が意識改革をしなければ改革は進まない」と説いた。最後に、「学校は、生涯学び続ける基盤を培う場所。これからも学校と社会・企業との連携を進めたい」と講演を締めくくった。



— 課外授業講師派遣 —

第1回 砺波市立般若中学校

6月17日(火)、牧田和樹氏(株MGG取締役社長)が砺波市立般若中学校において、2学年40名に対し「よりよく生きる」と題して課外授業を行った。

牧田社長ははじめに、チョコレート菓子を例に、①商売は売り手に対して買い手がいないと成り立たないこと、②製品・サービスと代金の価値がつり合っている必要があること、③顧客のニーズに応える製品・サービスであること、の3つの商売の原則を説明した。「14歳の挑戦」では、この3つの視点で商売を見てくるとよいと述べた。

顧客のニーズに応えるには、顧客の立場になり、顧客のことを考えることが大切であるとし、それに関連して、「よりよく生きる」ために大切にしてほしいポイントを話した。「人は必ず誰かと関わって生きている。人間社会では、人と人との間（空間や時間）を大事にし、それをよくしていくことが大切」と語った。心の2つの領域（For me と For you）を図で表し、わ

がままや自分勝手な部分の「For me」より、思いやりの部分の「For you」を広げていくことで、人間関係がよりよくなると説いた。「思いやりの心をもちなさい」と言われても簡単にもつことはできないが、わがままや自分勝手な部分を抑えることはできるので、そうして「For you」の部分を広げてほしいと語った。



牧田 和樹 氏

小学校からずっと同じ仲間と過ごしてきた般若中生に対して、これから高校へ進学するといろいろな人がいるので、「For me」を抑えて「For you」を大切にするとよい人間関係を築けるとアドバイスした。最後に、「人間関係をよくできるとよりよく生きることができるので、人と人との関係をよくするために思いやりを大切にしてほしい」と熱く語り講演を締めくくった。

中堅教員へのメッセージ

— 富山市中堅教諭等資質向上研修 —

6月18日(水)、寺島雅峰氏(株)寺島コンサルタント代表取締役)、福崎秀樹氏(株)フクール代表取締役)が、中堅教諭等資質向上研修「社会に学ぶ研修会1」(富山市教育センター主催)において、中堅教諭60名を対象にオンラインで講演を行った。



寺島 雅峰 氏

と話した。自社が携わっている社会資本整備事業において、企業と行政が協力していることを取り上げ、教育現場でも民間企業を含む地域との連携が必要となる場面もあり、地域と教育は共存する時代にあると述べた。

また、社会やビジネス環境が激しく変化し、将来の予測が困難なVUCAと呼ばれる時代に対応するためには、「想像力・忍耐力・洞察力」を備えた人財が必要であり、評価制度を見直すなど、

寺島代表ははじめに、会社理念「次世代のまちを創造する」のもと、「次の世代が安心して安全に、より快適に暮らすことのできる社会を創造する」ことを経営者として目指している

自社の人事制度の再構築に取り組んでいることを紹介し、受講者はこれからの社会で生きていく子どもたちに必要な力について考えを深めた。

新学習指導要領がスタートし、学校教育が変動している状況に触れ、「グローバル化、人工知能等、時代背景が変化する中で、多様性を認め合いながら自らが幸せを感じられる力、様々な事象を乗り越える力など、『生きる力』が大切になってくる」と述べたうえで、子どもたちが小さな挫折を乗り越えること、自分が何に興味・関心があるのか理解することなどを、見守り、支えてほしいと説いた。

最後に、チーム富山として学校教育を支えていく「子どもは家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」という言葉を示し、学校には地域や地元企業という仲間がいると受講者を激励し、講演を締めくくった。



福崎 秀樹 氏

トした。

会社経営を、樹木を育てることに例え「枝が力強く伸び実りを多くもたらす(=必要なこと)ためには、土を豊かにして根を太く長く広げること(=大切なこと)が背景にある。会社を維持発展させるためには顧客との関係構築や利益が必要だが、そのためには、社員一人一人の人生がより豊かになることが大切」と説明した。人間力を高

福崎代表は「自身が会社で挑戦していることと、皆さんが学校現場で挑戦していることを重ねてみることでまた違った化学反応が起きることを期待している」と述べ講演をスタートした。

め、社員全員が幸せになる力を育む会社にすることを目指しているという話から、受講者は学級経営と重ね、教員としての役割を再確認した。

また、今ある仕事の47%は自動化され、AIやロボットと共存・協働する未来が待っている中で、社員の幸せのためには、テクニックやスキルではなく、「①問いを立てる力、②情報編集力、③データに基づく意思決定力」といった人間としての力が必要であるとし、これは、各学校で取り組む「主体的な学び」にも通じる。「言われたことをやるのはAIもできる。新入社員研修を社員が企画・実践する等、主体性をもって会社にかかわる機会を取り入れることで、ゼロから生み出す力を育むことに挑戦している」と語った。

最後に、人が豊かに育まれるために大切だと感じているものとして「自然・歴史・言葉」の3つを紹介し、講演を締めくくった。

トルコ大使館を訪問

— 第43回海外経済視察へ協力要請 —

第43回海外経済視察団が10月にトルコを訪問することから、6月13日(金)に、麦野英順代表幹事、牧田和樹代表幹事、伊東潤一郎交流委員会担当役員、島田好美交流委員長の4名が、トルコ大使館を訪問した。

トルコ大使館では、オウズハン・エルトゥール大使、ファトゥマ・ベリン・オクル参事官に迎えられた。

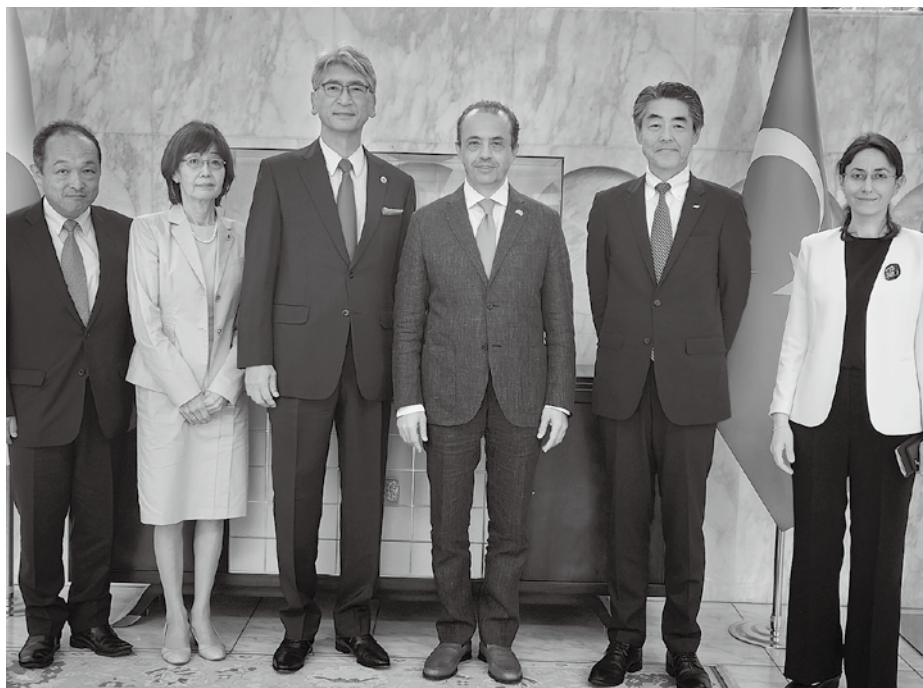
まず、麦野代表幹事からエルトゥール大使に、富山経済同友会の活動内容や海外経済視察の目的、今回の第43回海外経済視察のテーマやトルコ国内での視察先などについて英語で説明し、理解と協力を求めた。

エルトゥール大使からは、「1890年の海難事故以降、両国の友情の絆が育まれ、100年の節目を契機に各地で交流相互訪問が活発に行われている。来日して、日本のトルコへの関心の高まりを実感する。一方、トルコと日本の貿易面はまだ不十分であり、経済関係を促進するためにも海外経済視察のトルコ訪問は有意義であ



り、ぜひトルコに来てもらいたい」とご挨拶があった。

その後、県花がチューリップであること、ヤロバと砺波市の友好提携などトルコと富山の緊密な関係についても話題が及び、富山への来訪を促す和やかな会談となり、最後にトルコ大使館正面玄関で記念撮影をして終えた。



富山でのご縁をこれからも

— 第6回全国立山大使の会 —

6月13日(金)、日本橋とやま館の「富山はま作」で第6回全国立山大使の会を開催。全国立山大使17名と同友会から麦野、牧田両代表幹事をはじめ役員、交流委員ら11名が参加し、設立以来、最大の参加者数となった。

麦野代表幹事が、N Yタイムズの2025年行くべき52か所に富山市が選ばれたことをはじめとした政治・スポーツなどの県内のトピックスや、同友会の最近



麦野代表幹事

の出来事を紹介し、「関係人口や幸せ人口1000万と言われているが、この会はまさしく関係人口と言える。ぜひまた富山に来られ」と挨拶。続いて、鶴殿世話人のご挨拶をいただき、島田交流委員長長の乾杯の発声で交流会がスタートした。



鶴殿世話人

島田委員長

会の中盤では和気あいあいとした雰囲気の中、全国立山大使の皆さんがユーモアを交えて近況を報告した。

最後に、牧田代表幹事が「最後に残るのは人脈。富山経済同友会で共に活動したご縁を末永く繋いでほしい」と挨拶をし、全員で記念撮影。再会を誓い、盛会のうちに閉会した。



牧田代表幹事



第88回あけぼの会ゴルフコンペ

— 優勝は五日市静馬氏 —

6月28日(土)、呉羽カントリークラブ日本海コースにて第88回ゴルフコンペを開催し、78名のあけぼの会会員が晴天の下、熱戦を繰り広げた。

懇親会では麦野代表幹事より「今回も今年の春に次ぐ多くの方に参加いただき感謝申し上げます。先日全国立山大使の会交流会を開催したところだが、全国立山大使が同友会とのつながりをきっかけに関係人口を増やしているように、同友会が中心となりこの地域を盛り上げていき

たい」と開会の挨拶があり、中尾特別顧問の乾杯で始まり、盛り上がるなか表彰式へと続いた。

優勝の栄冠はネット69.4で五日市静馬氏（株宣広社）が獲得。麦野代表幹事から優勝賞品と記念品の富山ガラス工房の花器が手渡された。優勝の弁で五日市氏は「結果を聞いた時は大変驚いた。歴史あるあけぼの会で優勝できたことに感激している」と述べた。

また、麦野・牧田両代表幹事から代表幹事賞の提供があり、麦野代表幹事賞は、山口純平氏（山口郵便通送株）が、牧田代表幹事賞は野澤利昭氏（(公財)友愛健康医学センター）が受賞し、それぞれ富山県ゆかりのガラス作家による作品が贈られた。

その後、事務局から昨年度の会計報告を行い、長谷川達雄世話人代表が「秋の大会も皆さんに楽しんでもらいたいのので、健康に留意し多くの方に参加して欲しい」と挨拶し懇親会を締めくくった。



(敬称略)

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	五日市静馬	52	45	97	27.6	69.4
準優勝	津嶋 春秋	49	46	95	25.2	69.8
3 位	川口 義春	47	50	97	25.2	71.8
4 位	棚田 一也	43	48	91	19.2	71.8
5 位	浅野 雅史	42	47	89	16.8	72.2





富山のお酒

下 村 貴 之

(東京海上日動火災保険株式会社 富山支店長)

2024年4月に東京海上日動の富山支店長として着任しました。

生まれて初めて富山の地に足を踏み入れたわけですが、正直なところ、富山について最初は良い印象も悪い印象もほとんど持ちあわせておりませんでした。しかし、実際に来てみると、(失礼ながら) 予想外に富山が暮らしやすい場所であることに驚かされています。

入社以来、初めての単身赴任で時間もあるため、休日に富山の各地を巡り、富山の素晴らしさを存分に体験・体感しております。

まず、朝日町の春の四重奏。桜、チューリップ、菜の花、そして残雪の山々が奏でる景色は、まるで自然が織りなすシンフォニーのようでした。そして、砺波のチューリップフェアは、色とりどりのチューリップが一面に広がる光景が圧巻で、まるで花の海を泳いでいるかのような気分にさせてくれました。更に、立山黒部アルペンルート of 雪の大谷を訪れた際には、巨大な雪壁に心底驚かされました。大欽峰や黒部ダムもまた、自然の力強さと美しさを実感できる場所です、すでに四回も訪れてしまいました。

富山のもう一つの魅力は、その快適さです。人がごみごみしておらず、生活のペースが守れるため、非常に快適に過ごしています。都市の便利さと自然の美しさが絶妙に調和しており、ストレスが少ない生活を楽しめます。

特に飲食の面でも富山は素晴らしい地域です。新鮮な魚介類、山菜、お米はもちろんですが、特に私が感銘を受けたのは富山の地酒です。

富山県内には数多くの地酒があり、一年の間に幸運にも全ての酒造メーカーさんのお酒を飲むことができました。比較的すっきりした味わいのものが多いですが、それぞれの銘柄に個性があり、様々な料理に必ず合うお酒があり、かつ、おつまみがなくてもお酒そのものを楽しむことも出来ます。そのため、お店でお酒を楽しむだけでなく、自宅の冷蔵庫にも常に四合瓶を2本常備しています。自宅のベランダから立山を眺めつつ、一献傾けるのが至上の喜びであり、今後も多くの銘柄を堪能したいと思っています。

富山のお酒は贈答品としても最適です。県外の友人や知人に贈ると、いつも非常に喜ばれます。ただ、県外ではあまり目にすることが少ないためか、NY タイムズの「2025年に行くべき52箇所」に富山市が選ばれた今でも、寂しいことに富山の地酒はまだまだ知られていないのが現状です。皆様も同じご感想をお持ちかもしれませんが、富山のお酒を県外や海外の人々に、もっともっと知ってもらいたいと感じています。

最後になりますが、富山の人々の穏やかさ、温かさにも感動しています。皆さんの親切な対応や心遣いが、私の単身赴任生活を支えてくれているといっても過言ではありません。

富山の美しい風景とともに、素晴らしい地酒、そして様々な魅力を多くの方に知ってもらえるよう、立山大使として、これからも県内外に発信していきたいと思います。

(次号は日本放送協会 富山放送局長の
白川 友之 様です。)

活動報告

5月1日～6月30日

○委員会

開催日時・場所	委員会名	内 容	出席者
5月2日(金) 17:30～19:30 トラットリアポルコ	教育を考える委員会 第1回正副委員長会議	・委員会活動方針及び活動計画について	8名
5月7日(水) 14:30～19:00 インテックビル	教育を考える委員会	(一社) 関西経済同友会との交流	11名
5月8日(木) 16:00～19:30 事務局会議室	地域創生委員会 第1回正副委員長会議	・委員会活動方針及び活動計画について	11名
5月9日(金) 16:30～20:00 事務局会議室	第1回総務企画委員会	・委員会活動方針及び活動計画について	6名
6月5日(木) 11:00～13:00 事務局会議室	地域創生委員会 第2回正副委員長会議	・活動計画について ・第1回委員会について	9名
6月25日(水) 16:00～20:00 事務局会議室	人財育成・活躍委員会 第1回正副委員長会議	・委員会活動方針及び活動計画について	6名
6月26日(木) 17:00～20:00 インテックビル	第1回 教育を考える委員会	・活動方針・活動計画について ・講師：富山大学 学長特命補佐 林 誠一 氏 演題：「教育改革は大人の意識改革」	25名
6月30日(月) 11:00～12:30 事務局会議室	文化芸術委員会 第2回正副委員長会議	・活動計画について ・第1回委員会について ・7月定例会について ・第2回委員会について	9名

○課外授業講師派遣・教育講演講師派遣

開催日時	派遣先	対 象	講師
6月17日(火)	砺波市立般若中学校	2学年 40名	牧田 和樹 氏
6月18日(水)	富山市中堅教諭等資質向上研修	富山市内小中学校 11年次教員 60名	寺島 雅峰 氏
			福崎 秀樹 氏

○同友会諸会合

開催日	内 容	場 所	出席者
6月12日(木)	令和7年度中央日本地区事務局長会議	新潟県	市井事務局次長

○その他の会合

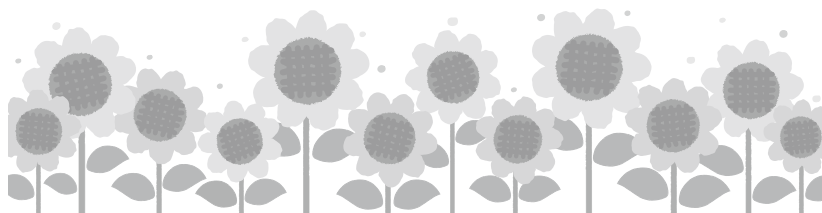
開催日	内 容	場 所	出席者
5月12日(月)	北陸新幹線建設促進大会・令和7年度北陸新幹線建設促進同盟会総会	都市センターホテル	麦野代表幹事
5月14日(水)	第2回富山県総合計画審議会	A N Aクラウンプラザホテル富山	麦野代表幹事
5月16日(金)	富山県スポーツコミッション発足式	富山県防災危機管理センター	上田事務局長
5月19日(月)	「富山マラソン2025」第1回実行委員会	富山県防災危機管理センター	上田事務局長
5月21日(水)	2025年度委員長会議	オークスカナルパークホテル富山	22名
5月29日(木)	第1回ボールシティとやまプロジェクト実行委員会	富山市役所	麦野代表幹事
6月2日(月)	第1回県庁周辺県有地等の有効活用に関する検討会	富山県庁	牧田代表幹事
6月13日(金)	第6回全国立山大使の会	日本橋とやま館 富山はま作	立山大使 17名 役員等 11名
6月23日(月)	第25回あいの風とやま鉄道利用促進協議会	オンライン	上田事務局長
6月28日(土)	第88回あけぼの会	呉羽カントリークラブ	78名

事務局からのお知らせ

事務局体制に変更がございましたので、担当委員会とあわせてお知らせいたします。(7/1～)

事務局次長 ふじい しゅんぺい 藤井 駿平 (株北陸銀行) (企業経営、人財育成・活躍、あけぼの会)

なお、市井涼祐氏(前 事務局次長)は(株北陸銀行 統合リスク管理部へ帰任致しました。今後ともよろしくお願い申し上げます。



今後の予定

開催日	対 象	行 事	場 所
7月24日(木)	幹事以上	7月幹事会	ホテルグランテラス 富山
7月24日(木)	全会員	7月会員定例会 講師：兵庫県立芸術文化観光専門職大学学長 劇作家・演出家 平田 オリザ 氏 演題：「本気の文化によるまち作り」	ホテルグランテラス 富山
8月5日(火)	全会員	8月会員定例会 講師：日本銀行 金沢支店長 大川 真一郎 氏 演題：「最近の金融経済情勢」	ホテルグランテラス 富山
8月20日(水)	令和6年10月以降 入会新会員、正副 代表幹事、常任幹事、 各委員会委員長、 交流委員会	新会員歓迎オリエンテーション	オークスカナル パークホテル富山
9月13日(土)	あけぼの会会員	第89回あけぼの会	呉羽カントリー クラブ
9月26日(金)	正副代表幹事 交流委員会担当役員 委員長	第33回経済同友会中央日本地区会議	新潟県新潟市
10月6日(月)	幹事以上	10月幹事会	オークスカナル パークホテル富山
10月6日(月)	全会員	10月会員定例会 講師：e コモンズ 事務局長 金子 和裕 氏	オークスカナル パークホテル富山
10月22日(水) ～29日(水)	全会員	第43回海外経済視察	トルコ
12月8日(月)	全会員	海外経済視察報告会・年末懇親会	A N A クラウン プラザホテル富山
1月14日(水)	幹事以上	新年幹事会・富山県知事との昼食会	富山電気 ビルディング

〔表紙写真〕

関西経済同友会との交流

5月7日(水)、(一社)関西経済同友会教育問題委員会の皆様が来県され、当会教育を考える委員会との意見交換会を開催。

大雪の影響により今年2月の来県予定を再調整し、今回の交流会が実現した。

発 行 所

富山経済同友会

富山市牛島新町5番5号 インテックビル4階

電 話 (076) 444-0660

F A X (076) 444-0661

e-mail: doyukai@po.hitwave.or.jp

https://www.doyukai.org/

わが青春の1枚



1983年テニス練習



テニスプロに帯同して



無謀な挑戦

株式会社ソシオ 代表取締役

寺下 利宏

若さゆえにとご理解いただければと思います。
大学を卒業し都内で働きだした1982年暮れに一本の国際電話があった。テニスでアメリカにこないか？という内容でしたが、あまりにも急で大変ビックリした記憶があります。学生時代二子玉川高島屋の裏側にあった玉川テニスクラブでコーチのアルバイトをしていたこともあり、また社会人のテニス大会で少し目立ったようで、それらの関係者の紹介だったらしいのです。いずれ富山に戻ろうという思いがあったのと憧れと挑戦心が混在して、会社（ファスナー会社）には大変申し訳なかったのですが退社し翌年1983年に無謀な挑戦をすることになった。

ニューヨークケネディ空港に着いたときはさすがに不安だらけだったのか今でも鮮明に記憶に残っています。住いはNYフラッシング〜同じクイーンズにあるベイサイドそして活動の拠点であるNJ フォートリーと転々とするようになりますが、フォートリーのエッジウォーター（ハドソン川を挟んでマンハッタンを望める所）にあるビンガムトンテニスクラブを拠点として駐在の日本人の方や現地のジュニア達のコ

ーチをしながら、ツアーで回っている日本人選手の練習相手や自身もアメリカの東部地区の大会などにも出場したりもしていました。あわせてバーゲンカウンティ大学にも入学しましたので多忙過ぎた感もあります。私自身のテニスはトップクラスでは無いと理解して大会に出場していましたが、さすがにレベルの差があり今でも心に残る強烈な挫折感がありました。また、テニスラケットについては1980年ころからラケットの産業革命と言われるくらいの素材がウッドからスチールそしてカーボンと変化している時でそれに合わせて打ち方の変化をさせなければいけないなど、いつの時代にも変化に対応する能力は必要だなと感じます。そして、心残りなのは当時テニスクラブで知り合いホームパーティや企業のピクニックにもお誘いいただいた現地駐在の方々や、帰国の際に乗っていた車を売却したプリンストン大学の日本人学生との付き合いがなくなってしまったことが悔やまれる。思えば当時から素晴らしい方々であった。

それから30年以上テニスラケットは握っていない。